

文化財だより

No.4

発行：藤里町教育委員会
〒018-3201
秋田県山本郡藤里町藤琴宇家の後67
TEL 0185-79-1327
FAX 0185-79-2227
E-mail : kyouiku@town.fujisato.akita.jp

イベント情報 白神山地世界遺産センター藤里館

『平野庄司切り絵原画展』開催！



昨年度の会場の様子。様々な題材の切り絵が並ぶ。

白神山地世界遺産センター藤里館で、9月3日(木)から、特別展示「平野庄司切り絵原画展」が開催されます。

この企画展は、藤里町の指定文化財にもなっている、切り絵画家の故・平野庄司氏の切り絵原画の数々を、たくさんの方に見ていただくため、切り絵教室の皆さん、白神山地世界遺産センター藤里館様にもご協力をいただきながら、当教育委員会が毎年開催しているものです。

今回の展示は、藤里町歴史民俗資料館に収められている平野氏の切り絵原画の中から、40点程度が展示される予定です。

平野氏の切り絵原画の大半は、普段は歴史民俗資料館の保存庫に納められており、一般公開はされていません。

毎年世界遺産センターで開催されているこの特別展は、平野氏の原画の数々を直接見ることのできる貴重な機会となっています。

平野庄司切り絵原画展は、10月4日(日)まで開催しています。平野氏の描いた切り絵の世界を、この機会にぜひご覧ください！

平野庄司切り絵原画展

期間：9/3(木)～10/4(日)9:00～17:00 まで

場所：白神山地世界遺産センター藤里館

その他：火曜日休館 入館無料

Pick Up! 文化財 ～第3回「染型紙」～

藤琴村と太良鉱山の繋がりを今に伝える996枚

かつて藤琴川上流部にあった「太良鉱山」は、国内でも有数の鉛山として大いに栄えていました。

鉱山の集落は専ら鉱石を掘ることに特化しており、食料品や衣類などの生活物資の供給は、周辺の集落に頼ることが多かったと言われていました。

かつての藤琴村や粕毛村では、太良鉱山に向けて様々な物資を製造・供給することで、地域の産業が発展してきたという歴史があります。

今回ご紹介する「染型紙」も、そんな太良鉱山と藤琴村の結びつきを、今に伝える文化財の一つです。

かつて鉱山で働いていた人々の中には、全国各地を渡り歩いて仕事をする「渡り」の鉱夫も多く、彼らは非常に流行に敏感で、着物なども流行りの柄を好んで買い求めたといいます。

今回取り上げた染型紙は、藤琴村で染物業を営んでいた旧家で保管されていたもので、伊勢や会津、京都など、全国各地の様々な流れをくむ型紙を多数含んでおり、当時の鉱夫たちのこだわりの強さを感じさせます。

保管されていた染型紙は、全部でなんと996枚！

四方を山に囲まれた東北の片田舎にあって、これだけバリエーションに富んだ型紙が存在するというのは、現在の視点で見ると驚きですが、鉱山を通じた人や物の行き来が、地域の文化や経済に大きな影響を与えていたという顕著な一例と言えるのではないのでしょうか。

この染型紙は、現在藤里町歴史民俗資料館に保管されており、996枚のうちの一部が常設展示されています。鉱山と町の歴史を物語る貴重な型紙を、是非一度ご覧ください。



染型紙の1枚。この型紙で染められた着物が鉱山で働く人々に供給された。(藤里町歴史民俗資料館所蔵)

少年教室「郷土史コース」活動報告

藤里町公民館が、夏休み期間中の小中学生を対象に毎年開催している「少年教室」で、町の歴史について学ぶ「郷土史コース」が今年も開催されました。

ここでは、8/19に行われた「縄文遺跡発掘体験」(能代市・茱萸の木遺跡)の様子をちょっぴりご紹介したいと思います。



【写真①】能代市二ツ井町の「茱萸の木遺跡」は、現在発掘調査が行われています。昨年度に引き続き、見学をさせていただきました！

【写真②③】秋田県埋蔵文化財センターの職員の方から、遺跡のことや、作業の注意点について説明を受けます。茱萸の木遺跡は4,000～5,000年前の遺跡だそうです。

【写真④】いざ、発掘作業に挑戦！いきなり土器を発見。慎重に周りの土を削って掘り出します。

【写真⑤】掘り出した土器は、洗浄して土を落とします。表面の模様が出てきました。

【写真⑥】発掘した土器・石器の一部。この日は、参加者全員が土器や石器を発掘できました。



編集後記

文化財だより第4号、いかがだったでしょうか？

新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが中止となる中、5月には大沢の壮士舞が、そして9月には上若・志茂若の藤琴豊作踊りが中止となるなど、町の文化財にとっても様々な影響が出てきています。

文化財だより第1号でもご紹介しましたが、藤琴豊作踊りは、江戸時代の後期に当町に伝わり、現在のように9月7日・8日の浅間神社祭典の際に踊られるようになった明治時代以降は、一度も欠かすことなく演じられてきたと言われています。

ニュース等を見ていると、日本各地の伝統芸能やお祭りでも、同様の状況が見受けられます。

一日も早く、コロナ禍が収束することを切に祈ります。

藤里町教育委員会

皆さんのご意見・ご感想
お待ちしております！